

令和4年版

消防年報



有明広域行政事務組合消防本部

は じ め に

この年報は、令和3年における消防業務についての実績を収録し、今後の参考にするとともに、本組合の消防事情について広く紹介するため編集しました。

なお、統計図及び統計表に「年」とあるのは暦年を表わし、「年度」とあるのは会計年度で、「何年何月何日」とあるのは調査日を記載しました。

令和4年7月

有明広域行政事務組合消防本部

も く じ

○ 総 務

1	位置と地勢	1~2
2	常備消防のあゆみ	3~14
3	組合構成市町の面積・人口・世帯数	15
4	議会組織	15
5	組合組織	15
6	消防機構	16
7	消防力の現勢	17
8	消防庁舎の現況	18
9	消防職員の配置状況	19
10	消防吏員の年令・勤務年数調	19
11	消防吏員の特殊技能	20
12	消防職員の教養研修実施状況	21
13	消防予算及び構成市町別負担金内訳	22
(1)	令和4年度 消防予算	22
ア	歳入	22
イ	歳出	22
(2)	令和3年度 構成市町別負担金内訳	22

○ 警防・救急・救助

1	施設機械	23
(1)	消防車両等の配置状況	23
(2)	主要器具の配置状況	24
ア	消火・救助活動用備品	24~26
イ	救急用備品	27
(3)	消防車両等の状況	28~29
(4)	消防水利現況	30
2	救急・救助	31
(1)	救急出場状況	31
(2)	署所別救急出場状況	32
(3)	市町別救急出場状況	33
(4)	医療機関別搬送人員	34
(5)	市町別医療機関数	34
(6)	年別救急出場状況(過去10年間)	35
(7)	高速道路救急業務実施状況	36
ア	担当区間	36
イ	救急出場状況	36
3	応急手当講習修了者数(過去5年間)	36
4	有明地域メディカルコントロール協議会活動状況	37
5	消防機関の活動状況	37
6	救助活動状況	38
(1)	事故種別出動件数	38

○ 通 信	
1 通信施設	39
(1) 消防救急無線電話設置状況	39
(2) 有線電話架設状況	39
2 119通報受信状況	40
○ 予 防	
1 防火対象物の現況（150㎡以上の棟数を計上）	41
2 建築確認同意事務処理状況	42
3 中高層建築物（4階以上）の現況	43
4 防火対象物定期点検報告制度の現況	44
5 特例認定通知書交付状況	44
6 防火管理講習会実施状況	45
7 各種届出事務処理状況	45
8 荒玉地区幼少年女性防火委員会	46
9 有明地区危険物安全協会	47
10 危険物施設状況	48
(1) 類別危険物施設の数調	49
(2) 数量別危険物施設の数調	50
11 危険物施設の許認可状況	51
○ 火 災 状 況	
1 火災概況（過去5年間）	53
2 出火件数・損害額状況（総括表）	54
(1) 市町別火災状況	55
(2) 火災種別件数比較表	56
(3) 市町別火災発生件数	56
3 火災原因別出火件数調	57
○ 消 防 団	
1 有明広域消防連絡協議会の組織	59
2 市町別消防団員数調	59
3 市町別消防団の消防車等保有状況	60
〈参考〉	
組合関係者名簿	61～62
(1) 組合役職者名簿	61～62
(2) 組合議員名簿	61～62
(3) 消防団長等名簿	61～62

一 目 統 計

(令和4年4月1日)

面積・人口・世帯	面 積	人 口	人口密度	世 帯 数
	421.44 K m ²	154,143人	368人/K m ²	69,198世帯

予算・機構・人事	消防予算	署 所 数	職 員 数	消防団員数
	2,178,983千円	消防本部 1 消防署 2 分署 6 庁舎 1	定数 220人 実数 217人 救急救命士 62人	定数 3,680人 実数 3,351人

機械・施設	水積載車	特殊車両	救 急 車	水 利
	タンク車 10台 水槽車 1台 化学車 1台 ポンプ 3台	はしご車 2台 救助工作車 2台 支援車 1台 資機材搬送車 2台	高規格救急車12台	消火栓 2,203基 防火水槽 1,209基

火災・救急・救助	火災件数	出火原因	救急件数	救助件数
	112件 約3.3日に 1件の割合 で発生	1位 たき火 34件 2位 その他 25件 3位 火入れ 18件	7,209件 1日当たり 約20件	100件 約3日に 1件の割合 で発生

予 防	防火対象物	危険物施設	防火訓練指導状況	防火クラブ
	5,050件 うち8条対象物 2,163件	製造所 6件 貯蔵所 268件 取扱所 228件	訓練回数 923件	女性防火クラブ 2 幼年消防クラブ30 少年消防クラブ 0